

病児の きょうだい支援に ついて考える交流会



ラ・ファミリエでは、小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の一環として、病児のきょうだい支援を行っております。

きょうだい児は、自分の気持ちを表現することがあまり得意ではありません。なぜならば、ケアを必要としている兄弟姉妹の優先度が高いのを知っているからです。直感力や洞察力に長けた彼らは、自分と他者を区別しない感性の持ち主です。普段の生活の中で親がつい言ってしまっている言葉かけや期待について、どう感じているのかを知っていただければと思います。

講師には、自身も障がいのある兄をもち、きょうだい支援をライフワークにされている、ケアラーアクションネットワーク(CAN)代表 持田恭子さんをお招きして、きょうだい支援についてご講演をいただき、その後には参加者同士の意見交換等も予定しております。是非、多くの方のご参加をお待ちしております。

■日 時■平成**28**年**7**月**23**日(土)

13時30分～16時30分

■場 所■ 松山市総合福祉センター 5F 中会議室

【所在地】松山市若草町8-2 【TEL】089-921-2111

※駐車場に限りがあります。なるべく公共の交通機関でお越しください。

■対 象■ 病児の親、きょうだい、関係者、支援者、ボランティアスタッフ

■参加費■ 無 料

■主 催■ 特定非営利活動法人ラ・ファミリエ

内 容

【第一部】13:30～14:30

ボランティアスタッフ キャンプ説明会

【第二部】14:30～15:30

講 演
「きょうだい支援について」

ケアラーアクションネットワーク(CAN)代表
持田 恭子 さん

【第三部】15:40～16:30

意見交換会

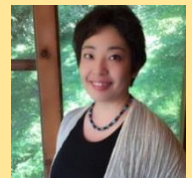


なお、18歳以上のきょうだいさんを中心に、
場所を変えて18時より懇親会を予定しております。

講師紹介

持田 恭子 さん

ケアラーアクションネットワーク
(CAN)代表・ACTIO 代表



幼い頃、ダウン症の兄が通う特別支援学校に共に通っていた経験から、多様なニーズを持つ子供たちと自然に触れ合い、障害者という特別意識を持たずに育つ。20代で海外勤務を経験し帰国後、1996年「障がいの兄弟姉妹ネットワーク」を設立し、日本各地のきょうだいたちとオンラインで繋がる。父親のがん闘病をきっかけに活動を休止。看取りを経た数年後、母親が倒れ、在宅介護と兄の身辺ケアを仕事と両立しながら行った。その時の孤独感や、ワークライフバランスを保つことの難しさを経験し、かつて繋がっていた仲間存在を思い出す。働きながら、障害児者の家族に向けた情報ウェブサイトの運営を始める。2014年より本活動に専従。

平成28年7月23日[土]

松山市総合福祉センター
5階 中会議室

(松山市若草町8-2)

- ・伊予鉄古町駅徒歩10分
- ・伊予鉄市内電車本町線本町4丁目電停徒歩3分

※ 駐車場の数に限りがありますので、
なるべく公共交通機関をご利用ください。



参加申し込み 締め切り：7月16日(金)17:00

ふりがな 氏名	
住所	
所属/職業	
患児ときょうだいの年齢	
電話 携帯電話	
メール	@
講師に聞きたいこと 話したいこと	
懇親会	出席 ・ 欠席 ※場所等の詳細は参加ご希望の方に後日お知らせいたします。

◆◆◆申し込み先・問い合わせ先◆◆◆

特定非営利活動法人ラ・ファミリエ ジョブサロン

松山市問屋町 3-26 Mベース 2階

TEL/FAX : 089-916-6035

E-mail : job@npo-lafamille.com

H P : <http://www.job-famille.org>

※ 当日の問い合わせ先 090-6888-4622 (西)